

教育支援部だより

今回は、絵カード交換式コミュニケーション・システムPECSについて紹介します。

自発的コミュニケーションができずに、指示待ちになっている子どもはいませんか？そんなとき、有効に利用できるトレーニング法を紹介します。

AAC って？

コミュニケーション行動とは、双方向性の行動です。



※構造化

※自分の意見を表現できるように、視覚的な条件整備をすること。

代替拡大コミュニケーション

AAC

※AACとは・・・Augmentative and Alternative Communication

AACの中でも、**VOCA** (Voice Output Communication Aid) は有名ですが、今回は

AACの一つである**PECS** (Picture Exchange Communication System) について紹介します。



絵カード 活用のポイント

PECSのトレーニングは六つのフェーズに分かれます。

普段欲しがらる物（食べ物、飲み物、玩具）よくしたがる活動のリストを作成します。

フェイズ	目標	内容
1	絵カードで要求する	相手にカードを渡せば、引き替えに欲しいものが手に入ることを経験する。
2	離れた位置から絵カードを交換しに来て要求する。	いろんな場所にあるコミュニケーションブックを自ら移動し、絵カードを交換しに行く。
3	要求に使う絵カードを区別し選択する。	対象者が好みのものを弁別できるようになることが目標となる。
4	「・・・ください」という文で要求する。	好みのアイテムの絵カードと「ください」と書かれたカードをつなげて、簡単な文をつくることを学ぶ。
5	「何が欲しい？」に文で答える。	「何が欲しいですか？」という質問に対して、PECSを用いて応答できるようになることを学ぶ。
6	応答的・自発的なコメントをする。	周囲で起きた出来事についてコメントできるようになることを目指す。

PECSは従来のトレーニング法には見られない長所をもっています。

PECSの長所

- 最初から自発的コミュニケーションを目指す。
- 機能的（実用的）なコミュニケーション・スキルを教える。
- トレーニングは、無誤学習（エラーレス・ラーニング）なので意欲が低下しにくい。
- 絵カードを他者に確実に手渡すので、人をしっかり意識するようになる。
- 絵カードを取って渡すことから始められるため、前提スキルが少なく早い時期から開始可能。
- ローテクで道具は安価である。

PECSトレーニングは、自発的に言葉でコミュニケーションがとれない子どもや大人にも向いています。障害種別や年齢は関係なくコミュニケーションのトレーニングができます。

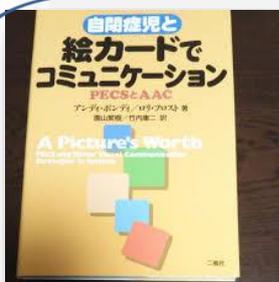
PECSの絵カードは言葉の代替物になります。

日常生活の中で、本人が何か伝える必要のあるときに、いつでも・どこでもPECSを使って思いを伝えることが目標になります。

学校で見付けた、要求に使う絵カード



絵カードを組み合わせて文を作る練習をしています。



アンディ
ボンディ著
二瓶社



文カードと呼ばれる、取り外し可能なボードの上に並べる

タブレット版

参考・引用文献

PECS ホームページ <https://pecs-japan.com>

自閉症児と絵カードでコミュニケーション PECS と AAC アンディボンディ著